

あるのであらうか、等閑に附する如き事のないのは當然であるがなほいまだしき感じがするのである。

一體に集團的な會議などで決議せられた事が當座限りにはせられて建議の實現や目的到達にまで至る事が少ない様に思ふ、既に大體に於ては形なり内容なりの出來てゐるものには云ふべきではないが、その形に於て内容に於て又社會的地位に於て徹々たるとして不完全なる状態にあるこの幼稚園教育に於ては、その存在の理由の廣く認めらるゝ爲には他に比して非常なる努力を盡さねばならぬのである。

以上述べた様な理由から私は幼稚園の普及を一刻もゆるがせにすべからざるものと思ふのである。幼稚園教育の普及に對する熱烈なる運動の實行と、その結果として各方面から必要の緊急を認められ各地方にあまねくその設立を見るに至るといふ事は私には今は議論はすぎて切實なる實際的要求である。

もはや理論の時代ではない、宣傳のみの時機でもない之が實行、實現の時である。その實行の爲には、幼児教育者自らが奮起し絶えざる努力と精勵を致すより外はないと思ふ。自分の幼稚園が完全だといふ事に安んじて廣く國家的社會的の見地から思ふ

事なくば幼稚園教育はいつまでも此のまゝの状態であらふ。此處に大に幼児教育者自ら勇猛奮勵してその普及の爲めその要求の實現の爲めに盡されんことを切望してやまないのである。(文責在記者)

我國に於ける幼稚園

こゝに掲げた保育學校は英國に於ける幼稚園完全運動の一と見られる。然らば我國に於ける幼稚園の現況は如何であるか。甚だしくその内容に於ても形式に於ても劣つてゐることを思はしめる。幼稚園は傳染病の巢窟であると言ひ、幼稚園を經て來た生徒は、小學校入校後訓練上困ると云はれるが如きは、いかに其衛生的注意に於て不備であり、精神的訓練に於て不完全であるかを語るものである。今我國に於ける幼稚園の状況を見るに、全國の幼稚園數は、六九五、園児の數五萬八千七百九十四人であつて保姆の數は、二千六十七人である(大正十一年四月現在)園児の數保姆一人宛二十七人である而して保姆無資格者が其五分の一に及んでゐる。園児の數を多くする事はこの種教育の普及のために保姆の數を増加し、有資格者を増すことはこの事業の徹底のために必要であるが、全國に於ける保姆養成機關の完成をはかることは、これ等にも増して緊急なる肝要事であらうと思ふ。

「社會と教化」